

# 哲 學 研 究

第 二 十 三 卷 第 十 冊

第 二 百 七 十 一 號

昭 和 三 十 年 十 月 一 日 發 行



(大正五年四月六日第三種郵便物認可)昭和十五年九月二十五日印刷納本(毎月一回一日發行)

永平正法眼藏の哲學……………文學博士 田邊 元

行爲と論理(承前)……………文學士 島 芳 夫

數學の形而上學的系譜について

……………文學士 下村寅太郎

京 都 帝 國 大 學 文 學 部  
京 都 哲 學 會



# 京都哲學會公開講演會

來る十一月十九日(土曜)午後一時半より京都帝國大學法學部第四教室に於て  
左記の如く公開講演會を開催致します

## 驚きの情と偶然性

京都帝國大學教授文學博士 九 鬼 周 造 君

## ゲネシスとポイエシス

廣島文理科大學助教授文學士 高 田 三 郎 君

京都帝國大學文學部内

京 都 哲 學 會

## 前 號 目 次

高山岩男氏の「哲學的人間學」について……………文學士 柳田謙十郎	二種の「テアエテーツス」……………長澤 信 壽	形式論理の現實的根據に就いて……………文學士 高山 岩 男 アリストテレスに於ける認識論的思想の發展(承前)……………商學士 藤 井 義 夫
----------------------------------	-------------------------	---

會 告

- 一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ會外出版印刷株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪三〇六六三番 内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、前金切レノ場合ハ帶封三「前金切」ノ印章捺捺致スベキ
- 一、ニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- ◆ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版印刷株式會社へ御申込下され度候
- ◆ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
- ◆ 振替貯金にて御送金の際は(振替京都三九三一番大阪三九三一番東京三九三一番) 内外出版印刷株式會社宛に願上候
- ◆ 特に請求書及領收書等を要する場合ハ郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	冊	冊	冊	冊	冊
一	六	十二	冊(前金)	冊(前金)	冊(前金)
			金四拾五錢	金貳圓七拾錢	金五圓四拾錢
			金壹錢	金壹錢	金壹錢
			五厘	五厘	五厘
			郵	郵	郵
			稅	稅	稅

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和十三年九月廿五日印刷納本  
昭和十三年十月一日發行 第二百七十一號 第二十三卷

京都帝國大學文學部内

不許複製  
禁轉載

- 編輯者 京都哲學會
- 右代表者 服部英次郎
- 發行者 須磨勤兵衛
- 印刷者 須磨勤兵衛
- 印刷所 須磨勤兵衛

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版印刷株式會社

振替口座 京都三九三一番  
大阪三九三一番  
東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入 内外出版印刷株式會社

賣捌所 (東京) (大阪) (神戸) (京都)

- 寶文館 東海堂
- 北隆館 上田屋
- 寶文館 盛文館
- 大文館 川瀨書店
- 大文館 大盛社
- 大文館 參文社

# 哲學及宗教及其歷史

波多野精一先生獻呈論文集

東北帝大教授文博

石原謙編

菊判縦組六〇〇頁  
クロス装製函入  
定價三圓六十錢  
送料書留卅三錢

## 新刊

此書は京都帝國大學名譽教授波多野精一博士の學問的教導に預かつた少壯學徒が其學恩を記念して恩師に獻ける感謝の贈物であり、また彼等が其苦心の勞作を集めて我國現時の學界に貢獻する所あらんとする意義深き企圖の成果である。此處に收められた二十一篇の論文は必しも相互に思想的聯關を保つてゐないし統一的な主題に集中してゐないが、多種多彩の中に自ら博士の學問的感化の餘芳を反映し、ギリシヤ古典學、哲學及び哲學史、宗教學及び基督教神學の三部門に亘つて何れも思索的歷史的乃至文獻學的研究の典型を示すに足るシムボジオンの諧調を成してゐる。博士の教授在職中に公にされた論著は容量に於て全く壓縮されただけに益々高邁な學問的意義の芳醇であつたことは學界稀に見る驚異であつた。今や其足跡を歩まうとする弟子達の此業績によつて再び博士の眞摯重厚な學風の片鱗を髮翬せしめ得ることは編輯者としても祕かに誇りとする所であり、好學の士の精讀を待つ所以である。(石原謙)

内容目次  
ギリシヤ古典學 和辻哲郎：「オレステイア」に於けるポリスと家族との衝突の問題。田中美知太郎：「雲」のソクラテス。長澤信壽：エレア派のツェノンの哲學。高田三郎：アリストテレスに於ける人間と政治。哲學及び哲學史 高山岩男：理性の根據に就いて。三木清：解釋學と修辭學。三宅剛一：存在と無限。木村素衛：ミケラシゼロの回心。高坂正顯：物自體と理念。安倍能成：惡の根源の問題。田邊元：カントからヘーゲルへの論理。西谷啟治：ニイチエのツアラッストラとマイスター・エックハルト。宗教學及び基督教神學 松村克己：學としての神學。片山正直：聖なるもの。中村明：シュライアマッハーに於ける「高次の實在論」。菅圓吉：バルト神學に於ける中心的なもの。佐野勝也：歴史的方法と靈的理解。石原謙：舊約宗教に於ける人間觀に就いて。神田盾夫：「神の國」と「人の子」。山谷省吾：パウロの神學に於ける聖化。村岡典嗣：明治維新の教化統制と平田神道。

(大正五年四月六日)昭和十三年九月二十五日印刷納本(毎月一回)  
第三種郵便物認可(昭和十三年十月一日發行)

哲學研究 第二百七十一號 定價金四拾五錢

郵税金壹錢五厘

東京 神田 橋 岩波書店 振替 六二四 東京 〇四